

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フランス尼崎市西本町二丁目	階数	地上15F地下0F
建設地	兵庫県尼崎市西本町二丁目24番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	131人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2023年11月30日
敷地面積	861㎡	作成者	株式会社生原建築事務所生原実
建築面積	369㎡	確認日	2023年12月5日
延床面積	3,803㎡	確認者	株式会社生原建築事務所生原実



※ 図面を拡大してご覧ください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	リサイクル材や、LED照明を採用するなど、環境負荷を低く抑えらえる建築物となるよう配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	住居部分の開口部は、採光と換気が十分確保できる大きさとし、豊かな居住環境となるように配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には可能な限り緑地を設けたほか、敷地入口付近に樹木を計画することで、周囲に溶け込む建物となるように配慮した。
LR1 エネルギー	建物内の設備は、LED照明など高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。	LR3 敷地外環境 広告物の照明は避けて、屋外照明を計画し光害対策を行っている。
Q2 サービス性能	特になし。	
LR2 資源・マテリアル	省資源化に配慮し、リサイクル材を採用したほか、断熱材にはODPが0の材料を使用した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される